



大きな屋根の下から広がるコミュニティ

お寺はその尊厳なイメージから、現代では行事の時以外は少し敷居の高い場所になっています。また観光地として、地域の人のためというよりは、観光客のための庭や建物を鑑賞する場所になっています。ここでは地域の人たちが気軽に立ち寄れて、楽しく時間を過ごすことで、地域に対してここからコミュニティが生まれるような3つのアイデアを提案します。

①お寺を公園にする。

- ・大きな屋根面を緑や花で覆うことで、地域の優しいシンボルとなります。
- ・本堂の建具を開放することで、地域の大きな縁側となります。
- ・敷地全体を緑の公園にして、誰でも入りやすい明るい雰囲気をつくれます。

②精進料理のお弁当

- ・食の安全や健康志向などから、精進料理のお弁当をお寺で作ったり、買ったりできるようにします。
- ・精進料理のお弁当をお寺の公園・縁側の好きなところで食べられるようにすることで、楽しい、ゆっくりとした時間を過ごします。

③ネットワークで全国につながるお弁当レシピ

- ・全国各地にあるお寺の、その地域独自の精進料理のレシピをインターネットを使ってネットワーク化します。
- ・地域色豊かな、楽しいお弁当のネットワークをつくれます。